

掲載元：南日本新聞
日付：10月26日（木）

沖永良部高校生が開発に携わった電動バイク。E
LOVE」の文字部分がぬれるとユリの花が浮か
ぶ 25日、東京都江東区の東京ビッグサイト



楽しく乗れるアイデア満載

沖永良部高生とヤマハ

知名町の沖永良部高校生とバイク大手のヤマハ発動機（静岡県磐田市）などが共同で開発した電動バイク「E LOVE（イーラブ）」が、東京ビッグサイト（東京都江東区）で26日開幕する車の祭典「ジャパンモビリティショー」のヤマハブースで披露される。25日は報道公開され、生徒3人が工夫をこらした車体の特徴などをアピールした。（9面参照）

ジャパンモビリティショーで披露

つなごう。意見交換を重ね、生徒は安定感やデザイン性を要望。普段は風よけで駐車中は絵を描くスケッチ台として使える可動式シールドや、頭からかぶり着用しやすい雨具と収めるポケットも提案した。車体カラーは島の海や空をイメージした淡い群青色で雨にぬれるとユリの花が車体に浮かぶ仕掛けも。ほかに車いすテニス選手の意見も取り入れ、ヤマハとデザイン会社が製作した。量産化は未定。

同校3年の泉琉香さん、藤田愛さん、松下美波さんが会場に立ち、説明役も担った。泉さんは「大雨や強風でもバイクで学校に行く。楽しく乗れるアイデアが実現してうれしい。実際に乗ってみたい」と笑顔で話した。（吉松晃子）

電動バイク共同開発